

# ヤマザクラ

2015 年(平成 27 年)10 月 20 日(火)発行

## ふくしま・グリーンフォレスターの会

佐藤 行年

いわきの森に親しむ会の中に ふくしま・グリーンフォレスターの会員が活動をしていることをご存知でしょうか。

ふくしま・グリーンフォレスターの会は「福島県グリーンフォレスター養成事業」で認定された有志の方々が平成 19 年 4 月に設立しました。

福島県では現在 100 名の方が認定されております。いわき地区では 19 名の会員がそれぞれに活動しています。いわきの森に親しむ会には、16 名の方が活動しております。

ふくしま・グリーンフォレスターの会の目的は、森林づくり活動などを通じて森林の重要性や大切さを伝えることにあります。そのために特に 4 つのことを行っています。

1. 森林づくり活動及び指導、助言等の支援
2. 学校等、教育活動の森林環境、学習の指導、助言
3. 森林づくり活動を推進するための研修会
4. 目的を同じくする団体との交流、情報交換等、

森林に関わる人が怪我をしない作業方法や機械の使い方や安全教育を学びながら

・安全第一・を合言葉としています。

会員は、刈払い機とチェーンソーの取扱いの資格を持ち、また指導できる皆さんです。

いわきの場合は、いわきの森に親しむ会に同居しているため、森林整備、技術の研修等を学べる環境にあります。

震災後は特に森林整備や間伐、草刈、育樹植樹が多くなりました。

湯の岳にある栗園跡地の整備、21 森プロ野球の森整備、舞子浜海岸林の整備等 年間 4 5 日前後整備活動を行っています。

他に、うつくしま育樹祭への協力 刈払い機、チェーンソー取扱い安全特別教育の支援等を行っているグリーンフォレスターの会です。

資格を持っているが木を切るのが怖い、チェーンソーの整備、目立てができない等、困ったことがありましたら声をかけてください。

一人でも多くの方が森林整備に携わってくれることを願っています。



舞子浜海岸 枯松伐倒作業



舞子浜海岸 黒松植樹

## 森林整備班の活動(定例)

桑原敏和

活動期間 平成27年7月8日～10月17日迄の定例(毎週月曜日・第1、第3土曜日)活動を記載します。

○定例整備日である水曜日及び第1・3土曜日に実施された本会の行事を優先しました。

内容は、7/8(水)には「プロ野球の森」の案内立て看板を設置。7/15(水)には戸渡ソバ栽培の準備として畑の草刈。

そして、8/1(第1土)には「第23回新舞子ふれあいの森下刈り作業」に参加(8名参加)。9/19(第3土)西郷子供会対応。9/30(水)好間稲刈。10/14(水)平支店ろうきん友の会対応等がありました。

◎夏期の整備作業は厳しい暑さの日となり熱中症が心配されましたが、適度の休憩や水分補給に気を配りましたので何事も無く作業ができました。ただ、夏の炭窯の作業は暑さが堪える厳しいもので、炭窯作業の実施計画は見直しが必要かと思われます。



炭焼:炭窯(大)焚口作り

## 森林整備班の活動一覧表 (H27.04.22~07.4)

月/日	曜	実施事項	参加人数
7/18	土	炭焼・ストーブ材丸太の搬出、薪割	5
7/22	水	山荘構内整備(釜戸撤去)、薪割	7
7/29	水	栗園跡地(樟植栽区域)下刈	7
8/5	水	薪割、ガンガロー周辺草刈	6
8/19	水	炭窯(小)の出し入れ作業	5
9/2	水	炭窯(大)炭出し	4
9/5	土	炭窯(大)炭材入れ	4
9/12	土	バンガロー通路と管理道路の草刈	4
9/16	水	炭窯火入れ、山荘周辺の草刈	5
10/3	土	湯ノ岳石庭霊場観察歩道整備(草刈)	2
10/7	水	観察歩道(丸山公園～栗園跡地草刈)	3
10/17	土	山荘周辺整備(側溝の改良)	7
活動 12日		森林整備班活動延人数	59人



## 目次 主な内容

P

ふくしま・グリーンフォレストサークル会 . . . . . 1

森林整備班の活動 . . . . . 3

海岸林の再生整備参加者数  
第23回新舞子ふれあいの森下刈り作業

木工クラフト班の活動 . . . . . 3

農作業班の活動報告 . . . . . 4

キノコ班の活動 . . . . . 5

プログラム勉強会グループ活動 . . . . . 5

草木染勉強会  
自然エネルギーの学習施設

ろうきん森の学校 . . . . . 9

開催日 1平成27年 7月19日  
2平成27年 8月16日  
3平成27年 9月20日  
4平成27年10月18日

2015年秋の湯ノ岳散策 . . . . . 10

(平支店ろうきん友の会)

自然体験教室(西郷子供会) . . . . . 11

第99回夜の生き物観察会 . . . . . 12

(県立いわき公園)

## 海岸林の再生整備参加者数

(期間 2015.7.17~10/3) 松崎

月日	整備内容	本会 トチ ギ	ボラン ティア	計
7/17	枯損木の伐採	2	-	2
7/24	〃	4	-	4
7/28	〃	3	-	3
7/31	〃	5	-	5
7/31	下刈り事前準備	2	-	2
8/1	下刈り作業	21	-	21
8/3	下刈り地拵え、植樹	2	8	10
8/7	枯損木の伐採	3	-	3
8/11	〃	2	-	2
8/11	〃	2	14	16
8/12	〃	2	14	16
8/21	〃	5	-	5
8/28	〃	2	-	2
9/3	下刈り地拵え、植樹	2	8	10
9/4	枯損木の伐採	3	-	3
9/12	下刈り地拵え、植樹	2	6	8
9/29	枯損木の伐採	4	-	4
10/3	下刈り地拵え、植樹	4	46	50
計		70	96	116

### 第23回新舞子ふれあいの森下刈り作業

主催：いわき青年林業会議所。共催：磐城森林管理署。

後援：本会・いわき市森林組合・磐城林業協同組合。

1.日時 平成27年8月1日(土) 晴  
9:30~11:00

2.場所 いわき市四倉町下仁井田地内国有林

3.本会の参加者 理事長他、計8名。

○いわき市民にゆかりの深い新舞子海岸に、皆で植えたクロマツの下草刈りを実施しました。

・当日は、暑さの厳しい快晴の日でした。手鎌での下草刈りで熱中症が心配されましたが、無事終了することができました。

・暑さが厳しく草が堅くなりニセアカシヤも繁茂し動力(刈払機)の活用も必要かと思われました。



下刈り作業

## 木工クラフト班の活動 桑原敏和

木工クラフト班活動一覧表 (4月~7月)

Iグループ (定例日の活動)

No	月 / 日	曜	木工クラフト 実施事項	参加 人数
1	7/21	火	男性：引出箱(ヒノキ) 女性：ビザカット用まな板	12
2	8/4	火	男性・女性 竹製ソーメン器作成	12
3	8/18	火	男性：飾り台 女性：ロールテッシュ箱	12
4	9/1	火	男性：飾り台 女性：ロールテッシュ箱	12
5	9/15	火	男性：大工工具箱 女性：ロールテッシュ箱	12
6	9/6	火	男性：大工工具箱 女性：ロールテッシュ箱塗 装	12
活動6日			参加延人数 72人	

○定例木工クラフト活動

毎月第2と第4火曜日に工房で実施しておりますので興味のある方は是非お出で下さい。

○自慢の作品を持って



IIグループ

開催日：毎月第3日曜日午後

ろうきん森の学校終了後希望者で活動します

No	月/日	木工クラフトの実施事項	参加 人数
1	7/19	竹製ソーメン器づくり	3
2	8/16	マイ箸づくり	2
3	9/20	コースター、飾り台づくり	3
4	10/18		3
活動日4日		参加延人数 11名	

# 農作業班の活動報告

太田 満

## 1. さつまい芋の収穫

9月20日、森の学校、農作業体験で5月に苗を植えたさつまい芋の収穫を行いました。芋の収穫量は約50kgでまずまずの成績でした。



サツマイモの収穫

## 2. カボチャ棚の実が熟す・・・収穫

猪からの食害防止のために設置したカボチャ棚に実がたくさん実り、収穫しました。



カボチャ棚

## 3. 種蒔きと収穫作業など

9月はいろいろな野菜の種蒔きを行いました。ダイコン、大カブ、タマネギ、のらぼう菜など。

今後の収穫作業は、残りのさつまい芋、落花生、長ネギなどがあります。

また、ブルーベリーは樹の枝の剪定効果があり、大粒の実がたくさん実り7月下旬～8月上旬に収穫できました。

## 4. その他の活動（藤原町笠石の畑）

- (1) 梅雨明け後に雨が全く降らない日が続いた為、畑に雨水の運搬をしました。
- (2) いまのところ、イノシシによる被害は無く収穫は予定通り順調です。
- (3) ほぼ毎回、畑周りや農道の草刈り作業を行いました。

## 5. 水稲栽培

好間町にあります冬水田んぼの稲刈・脱穀は下記日程で実施しました。

稲刈は9月30日（水）、脱穀10月7日（水）に実施しました。今年の作況指数は不良に判断されました。（伊藤）

## 6. ソバ栽培

今年も戸渡にソバを栽培しました。

○種蒔の準備として草刈と猪防御柵の補修。

7月15日（水）に実施しました。



ソバ畑の草刈作業

○坂本さんに耕運機で種蒔の準備をして頂きました。8月3日（月）種蒔を実施しました。



ソバの種蒔作業

○刈取・脱穀については

10月15日（木）に実施しました。

今年の水稲の収穫量は残念ながら良には届きませんでした。

\*作物を育て多くの収穫を得るには、数多く畑に通い手をかけなければ目的を達成することが出来ないのではと思われます。

ある農家の方は、田のくろ・畑は畝と畝の間の足跡こそが作物の肥料だと言っていた方を思い出しました。

天候や戸渡への距離的に問題があったのか、ソバ栽培方法等を検討する必要があると思われます。収穫の喜びが必要だと思えます。（伊藤）

## キノコ班の活動

今年のキノコ栽培は下表の通りです

項目 品名	伏込 月日	個数	収穫 始め
原木	6/30	32	9/19
マイタケ	7/2	8	
ハタケシメジ	7/25	60	9/20
ヒラタケ	7/27	45	10/7
ナメコ	7/27	60	10/7

9月下旬から最盛期にはいりました。



上段よりマイタケ・ハタケシメジ・ヒラタケ・ナメコ

## プログラム勉強会グループの活動

佐藤 烈

「秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる」(藤原敏行 古今集)

古来から季節の移り変わりを音で感じる感性を日本人は持っていたようですが、森を歩いていると虫の声の変化で季節の移り変わりを感ずることが出来ます。

真夏にはアブラゼミ、ヒグラシが樹上で鳴いていますが段々にミンミンゼミが鳴きだし、8月末にはツクツクボウシが鳴きだし9月末にはその声も聞こえなくなります。

その一方でお盆過ぎからは草むらからコオロギやウマオイが鳴きはじめる9月には陽が沈み始めた頃から賑やかになります。耳を澄ますといろいろな鳴き声が聞こえます。この虫の音は10月に入っても続いています。

皆さんも庭で何種類の声が聴けるか、数えてみてはいかがでしょうか。

### 1. 小学校等における学習支援活動

(7/1~9/30)

月日	小学校名	学年	学習	参加者	支援者
7/3	錦東小	3	総合学習	25	6
7/13	中央台北	4	総合学習	71	9
9/3	平6小	3	総合学習	41	9
9/24	中央台北	4	総合学習	71	9
計	3校		総合学習支援	208	33

この四半期には上表のとおり4回の総合学習の支援を行いました。

これらは今年度、第2回目、第3回目の総合学習支援です。

以下に錦東小と平6小の支援について述べます。

錦東小の支援日は、児童たちが強く希望しているのでと担任から連絡があり、時折小雨が降る中でしたが実施しました。

雨の弱い時間を見ながら、班の木の変化を確認したり、虫を探したり、体のものさしの使い方を覚えたり、きれいな色の花を観察シートに貼りつけたりしました。支援後、各班を率いたメンバーが児童から聞いた話から、当会の第1回支援後も学校が独自に継続的に観察を続けていて、班の木の種名も独自に調べていたことがわかり、学校の主体的な取り組みにうれしく思いました。

平6小の支援については雨のため延期となり第1回目の支援の5月から4か月と間隔が空きすぎたせいか、始まる前に前回どんなことしたか児童に問いかけても多くの子供が忘れており、それを少しずつ思い出させるところから始めました。

支援内容は錦東小と同じです。万本桜の丘の上にある巨木を指し、どのくらいの高さかなと尋ねてみて、予想を立てさせ、その予測があたっているか体のものさしを使って計算させてみると興味を持って取り組んでいました。



平第6小学校3学年の総合学習支援風景  
**2 その他の活動** (7~9月)  
 いわき明星大学の学校林の管理及び整備  
 7月：7、14 支援者延8名  
 8月：3、10、17、31 支援者延8名  
 9月：7、14、21、28 支援者延8名

## 草木染勉強会

### 藍の生葉染め体験

山荘ではタテアイ（椿葉・阿波葉）を昨年より栽培を始めましたが、今回プログラム勉強会グループの協力を得てようやく生葉染めの勉強会を開催することができました。

- 1.勉強会日時 平成27年7月30日（木）  
9：00～12：00
- 2.参加者 10名

○体験活動のプログラムの一つに思っておりますがまだまだ草木染めの体験と勉強が必要であると思っております。

今後も機会があれば草木染勉強会を計画したいと思っておりますので参加下さい。（伊藤）

## 自然エネルギーの学習施設

湯ノ岳山荘敷地内に、本会とNPO法人いわき環境研究室の協働による、太陽光と風力そして水力を利用した自然エネルギー学習施設が出来ました。

引続き太陽熱利用やバイオマス利用等の施設を行なっていければと思っています。

### ○施設を紹介します



直径3mの水車です(発電機を取付ける予定です)



太陽光発電パネルです(出力90W)  
 発電量と太陽光の関係を学べる施設です  
 (太陽の方向や角度を調整できる)



風力発電(出力400W)水車直径1m(発電機取付予定)  
 太陽光発電パネル(出力90W)の組み合わせの設備。  
 これらの施設を利用した環境教育プログラムが示されますので有効に活用して下さい。

# ろうきん森の学校

若森秀樹

(平成 27 年 7 月 19 日～10 月 18 日)

## I. 平成 27 年 7 月 19 日 (日) (快晴)

### 1. 実施内容

- ①自然観察会。②花炭づくり体験。
- ③野外料理体験。

### 2. 参加者 44 名

(今回はたくさんの女性と、お子さん 5 名の参加があり、一挙に華やかな森の学校となりました)

### 3. 実施結果

#### ①自然観察会

台風明けの蒸し暑い日でした、蚊取り線香を持参し参加者を 2 班に分かれて観察コースへ。本格的に夏到来。森の深い緑とヤマユリ、カワラナデシコの花。夏の茸タマゴダケを観察できました。



観察歩道を進む参加者

#### ②花炭づくり体験。

自然観察会で採取した花炭材を缶につめて蒸し焼き焼きにしました



花炭材の出来上がりに願を込めて缶につめる  
松ボックリ等は焼き上がりは良いが、生の花炭材の焼きは難しい。ただ、夏の火は厳しい。

#### ③野外料理体験。



石窯料理の準備(アルミホイルで食材を包む)



石窯焼き料理体験(指導者、佐藤・松本)

焼食材はピザ。薩摩芋。玉葱。人参。ピーマン



今回初めて簡易燻製窯による燻製料理に挑戦しました

(燻製食材はソーセイジ・チーズ等)

ご飯は釜戸で炊き上げ山菜やキノコを主とした混ぜご飯と味噌汁。豪華な昼飯となりました。



## I. 平成 27 年 8 月 16 日 (日) (曇)

### 1. 実施内容

- ①自然観察会。②木工クラフト体験。
- ③野外料理体験。

### 2. 参加者 24 名

(お盆のためか、お子さんは 2 名 (1 家族) でしたが、楽しい会となりました。)

### 3. 実施結果

#### ①自然観察会

観察は棚田跡を中心にコース 3 でした。



何かな



サワカニ

ゆっくり時間をかけて観察できました。

サワカニです

カエルやサワカニ等の観察できる流 (沢) のあるコースは、自然と楽しく付き合えるコース 3 の魅力でした。

#### ②木工クラフト体験。



カスタネット作り

作品は・竹の箸・昆虫の竹細工・カスタネット  
大人からお子さんまで楽しく作ることができました。

#### ③野外料理体験



暑い日は冷たい素麺が一番。

今回の日程は、お盆で一般の方の参加者より本会員が多数を占めた森の学校となりました。

## III. 平成 27 年 9 月 20 日 (日) (晴)

### 1. 実施内容

- ①自然観察会。②農作業体験。
- ③野外料理体験。

### 2. 参加者 35 名

### 3. 実施結果

#### ①自然観察会

自然観察に入ると早速シヨウリョウバッタを捕えるなど子供は昆虫が大好きです。

お母さんは秋の恵みの栗拾いに夢中です。

今回主に観察されたものは、サワヒヨドリの花・色づいたツリバナの実等がありました。



今月から観察コースには本会と NPO いわき環境研究室が共同で進めている自然エネルギー活用事業で建設された水車を見学することが出来るようになりました。



新しい見学スポット水車の前で

### ②農作業体験

サツマイモの収穫作業に参加された方々はサツマイモ起こしを十分楽しんだようです。

また、今年は猪の被害も皆無で出来栄は上々でした。



採れたサツマイモを手に(旨そう)

### ③野外料理体験

今回も簡易燻製器によるチーズ・食塩の燻製に挑戦。作品は味も良く今後野外料理の新メニューに加わるのではと思われます。



チーズの燻製

## IV. 平成 27 年 10 月 18 日 (日) (快晴)

### 1. 実施内容

- ①自然観察会。②キノコ勉強会。
- ③野外料理体験。

### 2. 参加者 30 名

### 3. 実施結果

- ①自然観察会 (キノコの観察・採取を含めて) ・湯ノ岳観察コースと新コース (丸山公園～栗園跡地～湯ノ岳平和観音～山荘) に分かれて観察会を実施しました。



観察会スナッフ(アケビを見つけて)

今年の山は豊作で数多くの実を観察できました。

主なものとして、アケビ.コナラ.クヌギ.マユミ.ムラサキシキブ.イヌシデ.クマシデ.ニシキギ.ウメノドキ.ガマズミ.ヒヨドリジョウゴ.クリ (猪に先をこされてイガグリのみ) マヌシグサ (赤い実)。



マヌシグサ

\*秋の花、ノコンギク.ヤクシソウ、外来種のセイダカアワダチソウ.ヤクシソウ。

\*冬ごもり前の活動として、キチョウ・ウラギンジジミ (成虫で冬を越す) が観察されました。

\*紅葉には少し早いがヌルデ、ヤマザクラ、ツタウルシの一部が紅葉しはじまりました。  
 \*キノコの観察・勉強会について、今年は雨が少ない等天候の影響と思われるのですが、残念ながら観察コースにはキノコは皆無でした。



ツタウルシが一部色つきました

### ③野外料理体験。

山荘で栽培したキノコ・マコモ料理と北海道産鮭を炭火で焼き頂きました。

## 2015年度 秋の湯ノ岳散策

平支店ろうきん友の会(会長 大沼喜人)では湯ノ岳山荘を利用され、秋の「湯ノ岳山荘観察コースの散策」と「木工クラフト」を楽しみました。

1.実施 2015年10月14日(水)(快晴)

10:00~14:30

(本会では木田理事長他 計12名で支援)

2.参加者 17名

3.実施内容

○秋の湯ノ岳散策。今回新しく設定したコース(丸山公園~栗園跡地への紅葉樹林~湯ノ岳平和観音~山荘)を案内しました。



天候は快晴、初秋とは言え気持ちの良い木陰



童心にかえり夢中でサワカニ探し

紅葉には早いでしたが秋の実り(アケビ、ドングリ、ムラサキシキブ等)を観察採取。栗は猪による被害で全く採取出来ませんでした。  
 ○昼飯には石窯料理(ピザ、焼きサツマイモ・タマネギ)。

### ○木工クラフト

午後、湯ノ岳森の工房で本棚作りに挑戦。本棚作りに入ると目が輝き真剣に取り組み参加者全員が時間内に作ることが出来ました。



真剣取り組んだ本棚作り



自分の手を打たないように



しばらくぶりの鋸



本箱を手に記念に工房の前で

\*振り返り:天候に恵まれ安全に楽しく終えることが出来た。また、本棚は思ったより立派に出来上がり満足とのことでした。事前の打ち合わせを実施したことが楽しく出来た成果一つでした。

## 自然体験教室 (西郷子供会)

若森秀樹

湯ノ岳山荘を利用して西郷子供会では、自然体験教室を開催されました。

- 1.開催日時 平成 27 年 9 月 19 日 (土) 晴
- 2.参加者 24 名 (子供 14 名、父兄 10 名)
- 3.体験内容
  - ①自然散策 ②ネイチャーゲーム、③昼食、④木工クラフト

## 4.実施結果

①自然散策。 観察コースをめぐり、昆虫、野鳥、草花、キノコ等秋の風物を楽しみました。新しく出来た水車を見学しました。



水車の見学

### ネイチャーゲーム

目玉っちゲームではユニーク発想に驚かされました。また、葉っぱでのジャンケン、マツボックリ投げ等楽しく過ごしたようです。



目玉っちゲーム

③昼食は父兄の方々の手作り焼きそば石窯でのピザ等美味しく楽しい昼食でした。

④木工クラフトはリールシロホン、カエルのカスタネット木枝クラフト(鉛筆、ペンダント)等を作り、青空の下で秋の1日を楽しくすごしました。

## お詫び

会報第14号に掲載しました役員改選後の新体制について、役員名簿で太田 満理事名が記載されない誤がありました。

心から深くお詫び申しあげ左記の通り訂正させて頂きます。

平成二七年十月二十日

編集担当 伊藤貞夫

記

## 役員名簿

理事長 木田章一。

副理事長 松崎和敬、池野上幸弘。

理事 金子喜弘、佐藤行年、

野口 紘、太田 満、

桑原敏和、佐藤幸二、

佐藤 烈。

監事 伊藤貞夫、猪村珠紀。

以上

### 第3回 夜の生き物の観察会

鈴木 勤

8月8日(土)18時30分から20時30分まで、いわき公園において「夜の生き物の観察会」を行いました。

参加者は大人20人、子供21人、家族での参加が多い観察会でした。



観察会参加者

昨年の観察会は雨のため中止しており、今年こそその思いでスタッフ一同、下見・準備をしてきました。

A班…リーダー：津崎、サブ：鈴木小百合

B班… “ : 桑原、 “ : 円谷

C班… “ : 鈴木信一、サブ：佐藤烈

D班… “ : 佐藤行年、サブ：宮下

ベテランリーダーと新人サブ（一人はベテランさん）の組合せで、真っ暗な夜のいわき公園を懐中電灯の光で虫を探しながら楽しく歩きました。



カブト虫発見(夜の生き物の観察会の楽しみ)

気温が低く、虫が少ない感じでしたが、セミの羽化・蛍(かろうじて1匹)・カブトムシなども観察でき、子供達の元気な歓声と嬉しそうな笑顔が印象的な観察会でした。



夜間観察風景・公園歩道にて

終了後のスタッフミーティングで出た反省点を参考に、来年の観察会は更に楽しく出来るようにしていきます。

夜の観察会は年に1回の開催ですので、会員の皆さんも来年はぜひ参加してみてください。スタッフとしてのご協力もお願いします。

#### 編集後記

今年の夏は暑い日が続きました。

毎日も熱中症で亡くなられた人何名、病院へ運ばれた方何名等と暑さが社会問題となりました。

その後9/9には台風18号が日本列島に上陸、天気予報もこれまで聞いたことの無い線状降水帯、アウターバンドが線状降水帯に発達、50年に1度の記録的な大雨、今までに経験の無い記録的な大雨、特別警戒。

そして最大級の警戒するように発令された。翌日には茨城常総市・宮城県大和町、福島県只見川流域に大雨による水害発生。年々自然災害が多発、これは地球温暖化の影響か、人が自然に近づき過ぎか、自然をないがしろにしてきたのか、そのような気もしますが。

10月11日富士山初冠雪、寒くなりました。夏の暑さが恋しくなりました。編集作業に入らねば、20日発行に間に合わない。急がねばと机に座ったら足が冷たい。  
(伊藤)

(発行) NPO 法人いわきの森に親しむ会

(発行責任者) 木田章一 (編集担当者) 伊藤貞夫

(事務局) 〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳2

湯ノ岳山荘内

TEL/FAX 0246-44-3273

E-mail: yunodake@gray.plala.or.jp

HP: http://iwaki-mori.Jimdo.com/